

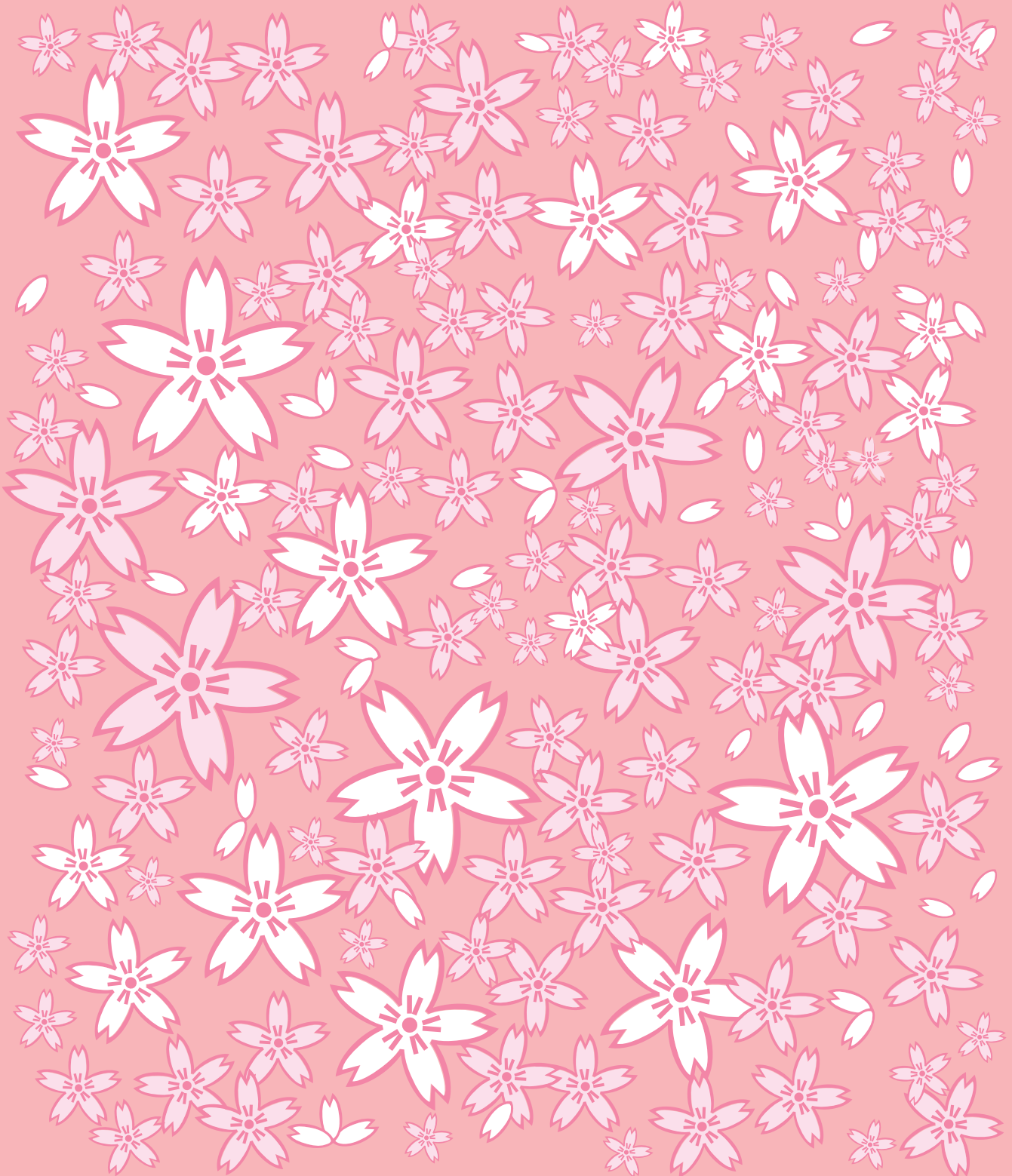
# 会報

春

No.149

2010.4

社団法人 北海道電業協会



目 次

「想像力のきたえかた」	
.....北海道産業保安監督部企画調整官 島 田 雄 二	1
平成22年電気関係賀詞交歓会	2～3
法人職務執行者就任ご挨拶	
.....サンワコムシスエンジニアリング(株) 北海道支店	
支店長 川 出 健	4
人材育成助成制度等説明会	5
技術講習会「積算業務の基礎と実務」	6
公益法人制度改革の勉強会	7
電設業関連四団体懇談会	8
電気・空衛連絡協議会	9
札幌市都市局と電気・空衛協議会との意見交換会	10
電気設備工事現場見学会	11
ーシリーズー 1/212だより	
・海鳥の楽園・天売 緑の島・焼尻	
四季の豊かな自然と調和するまち 羽幌町	
.....羽幌町長 舟 橋 泰 博	12～13
・人かがやき 夢ひろがる 美しき唄のまち	
.....美唄市長 桜 井 道 夫	14～15
「道設備設計事務所協会」と「電気・空衛連絡協」との意見交換会	16
現場からこんにちは	17
「お知らせ」	
平成22年度電気工事施工管理技士受験準備講習会	
1級学科・1級実施	18
平成22年度登録電気工事基幹技能者特例講習会	19
平成22年度登録電気工事基幹技能者認定講習会	20
業界だより、理事会	21
三役会・委員会報告	22～23
事務局日誌	24
編集後記	



# 想像力のきたえかた

北海道産業保安監督部

企画調整官 島田 雄二

いきなり私ごとで恐縮ですが、大学で日本美術史を学んだ私の娘は、都内のとある美術館の新米研究員をやっています。最近までたっぷり東京仕送り、学費を注ぎこまれた彼女を案内役に、都内あちこちの美術館や博物館の古い日本画を見て回るのが、最近の東京ステイの楽しみです。

そこは、中世近世の日本の天才達が渾身の作品をふりかざし、次々迫ってくる豪華な空間です。一体、彼らの想像力のあきれ果てるほどの凄さはどうでしょう。行ったことのない山水も、江戸初期以前では見た筈のないラクダや象や虎も、気流も電磁波も幽霊も、どんどん想像されて美しく妖しい世界のものとなってしまっています。

そんなあきれれるほどの想像力発揮の現物と同じ場所、同じ時間にいると、娘のヲタクな解説口上なぞ次第に耳に入らなくなり、発色劣化防止のため薄暗い館内は、かつて妄想少年だった自分に帰っていきそうな、不思議な時空となります。我が想像力は大いに活性。

※ ※

世の中に想像力を使う仕事はたくさんありますが、決して創作・開発型の仕事だけではないと考えます。部品加工の町工場で、低コスト・高精度の評価高い製品を作りあげる熟練工さんは、渡された一枚の設計図から、完成品が扱われる環境、扱う人までも想像すると聞いたことがあります。

電設工事の分野においても、安全な優れた仕事をこなしておられる模範的なエンジニアや作業員さんは、作業従事の際に、素人には分からない特殊な想像力をしっかり使っていることと思います。

私ども北海道産業保安監督部のミッションの一つに「危機管理」があります。平成17年に電気、ガス等のライフライン産業の保安が、経済産業局から当部に移管され、当部にとって危機管理は、極めて重要なテーマなのです。

「4つのフェイズの震災シナリオを提示するので、自分の課に入ってくる情報や指示、自身の判断や指示、部下の行動を時系列に想定展開せよ」これは、本年2月実施された当部の震災対応演習での設問です。

「理工系卒・公務員」という世間相場ではかなり創造的でないとされる人種（私を含む）がほとんどの我が部の職員達が、懸命に想像を絞り出します。過去経験と諸規程の適用で考える人は、直ぐにつまってしまいます。想像力豊かな人は、様々な緊急事態と様々な対処を展開してみせます。後者の方が危機管理の備えに優れる人となります。危機管理に想像力が重要という所以です。

北海道電業協会員の皆様はいかがでしょう。会社の経営や安全施工等々、危機管理の対象範囲は広いかと思えます。日頃しっかり想像力は発揮されておられましょか。

※ ※

想像力は「力」が添えられている単語ですが、強弱ではなく貧富や乏豊で説明します。「富み」「豊かさ」に無縁な私ですが、想像力だけでも減退させずに職務に余暇に励みたいものです。

この春、奈良国立博物館で、私の想像力沸き立つ、すてきな日本画展示があるそうです。奈良までの引率と解説を頼みたい「案内役」への謝礼が高そうですが…。

## 平成22年電気関係賀詞交歓会



佐藤副会長挨拶

日 時 平成22年1月8日(金)11時から  
場 所 札幌グランドホテル2階  
「グランドホール」

(社)日本電気協会北海道電気協会  
北海道電気工事業工業組合  
(社)北海道電業協会

恒例の上記3団体による「平成22年電気関係賀詞交歓会」が、1月8日札幌グランドホテルにおいて、多数のご来賓と3団体の会員合わせて約350名が出席して開催された。

初めに主催3団体を代表して(社)日本電気協会北海道電気協会の佐藤芳孝副会長が挨拶した。

佐藤副会長は、最近の経済状況から「一昨年のリーマンショックに端を発した世界同時不況から脱する事ができず、昨年8月の衆議院選挙の結果民主党への政権交代がなされ鳩山内閣が誕生し、政策は従来と大きく様変わりした。ほかの地域と比べて社会資本整備が立ち遅れ、公共事業への依存度が高いなど脆弱な産業構造を抱えている北海道では、新年度の北海道開発予算が33年振りに

5000億円を割り込むなど、地域経済に影響が出てくることを危惧している」と述べ、つづいて明るい話題として「北海道新幹線について、新青森から新函館間の整備費450億円が計上された。新千歳空港の国際線旅客ターミナルが運用開始し、海外からの観光客の受け入れ体制が整った。さらに、昨年12月に泊発電所3号機が営業運転を開始し、本道の電力重要に占める原子力の割合が40%を超え、電力安定供給の基盤が整った。この3号機でCo2排出量も2～3割削減できる見通しで、低酸素社会に貢献したい」。さらに「今後の環境関連市場では、低酸素社会への対応として、エコ住宅の普及、再生可能エネルギーの拡大など新たな事業分野がチャンスとなるので、このよう





な厳しいときこそ新しい分野に挑戦し、飛躍できる1年にして欲しい」と語った。

続いて、来賓の柚原一夫北海道経済産業局長から、祝辞を頂戴し、まず、日頃から電力という国民生活や産業に不可欠なエネルギー供給に尽力されていることに対するお礼を述べられてから、最近の経済情勢について触れ、非常に厳しい状況が続いているけれど、中長期的な視野から来るべき春に備えて、必要な事を着実にやっていかなければならないとし「北海道は経済の活力となる観光、農産物、人材、広大で肥沃な土地など優れた地域資源を有しており、これらをうまく活用することで新しいビジネスチャンスが生まれてくる。活力ある北海道経済を引き出すため、皆さまと一緒に力を合わせて取り組んでいきたい」と決意を述べられた。最後に、電気関係3団体の一層のご理解とご協力をお願いされて締めくくった。



乾杯 尾池理事長

この後、北海道電気工事業工業組合の尾池理事長の乾杯で交歓会が始まり、会場では景気回復や企業業績アップを願い、あちこちで名刺交換や歓談する姿がみられ、和やかな雰囲気での時間の経つのも忘れるほどの賑わいであった。

最後に当協会の吉川会長の締めでお開きとなった。



ご祝辞 柚原一夫 経済産業局長



吉川会長の締めでお開き

## 法人職務執行者就任ご挨拶



サンワコムシスエンジニアリング(株)北海道支店 支店長

川 出 健

春の日差しが暖かく感じられる頃、会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

私はこの度、前支店長 森 智嗣の後任として1月1日付で北海道支店長に就任いたしました川出 健でございます。

平素より電業協会並びに会員の皆様には格別のご高配を賜り心から厚く御礼申し上げます。若輩者ではありますが、会員の皆様のご指導を頂きながら、会社及び業界各位の発展に微力ながら最善を尽くす所存でありますので前任者同様宜しくお願いいたします。

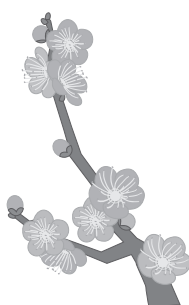
私自身は愛知県の出身ですがこれまで移動体通信工事として南は沖縄から北は青森までの建設工事に勤務してきました。だんだんと北上し、ついに最北端での勤務となりました。北海道は初めての勤務であり早く地場になれるよう努力中です。

この機会をお借りしまして、弊社の紹介をさせ

て頂きます。弊社は昭和22年9月に電気工事・電気通信工事の総合会社として三和電気興業(株)を創立し昭和43年7月大榮通信工業(株)と合併、し三和大榮電気興業(株)と商号変更し平成8年4月(株)三和エレクトリックに変更、平成15年9月弊社、日本コムシス株式会社及び東日本システム建設株式会社の3社共同の株式移転による純粋持株会社『コムシスホールディングス株式会社』を設立、その後平成17年4月コムシスホールディングス傘下の事業再編により、日本コムシス(株)のキャリア系事業と旧(株)三和エレクトリックの事業を統合し、商号をサンワコムシスエンジニアリング(株)に変更、ここ北海道においても新たなスタートを切り現在に至っております。

キャリア系事業、メーカー・ベンダー関連事業、ICT事業及び通信・電気等コンストラクション事業を展開しております。今、我々を取り巻く道内の環境は大変厳しい状況ではありますが、夢をもって協会の発展に努力する所存でありますので、今後ともよろしくお願いいたします。

最後になりますが当協会の益々の発展と会員皆様のご健勝を祈念申し上げ、新任のご挨拶とさせていただきます。



## 人材育成助成制度等説明会



平成22年1月28日(木)午後1時30分から、北海道電気会館502会議室において「人材育成助成制度等に関する説明会を開催した。受講者は会員企業の経営者と実務担当者27名が参加した。

(社)日本電設工業協会は平成21年7月に組織改革の一環として、人材委員会を設立。従来からの経営企画委員会や基幹技能者特別委員会等に分散して実施してきた内容を1本化し、人材の確保・育成に関する取り組みを充実させることとした。

講師には、(社)日本電設工業組合の人材委員会から池田秀基委員(日昭電気(株)社長)が派遣された。

説明会では、講師の池田氏から人材委員会設置の背景や人材育成・活用のための各種ツールを紹介。(社)日本電設工業協会が作成した「中小企業向け助成金まるわかりBOOK」について解説された。



講師 池田 秀基 氏(日昭電気(株)社長)  
(社)日本電設工業協会人材委員会委員

そのなかで、助成金の交付は、各省庁のほか財団法人など数多くの機関で実施されているが、一般には知られていないものが多いうえ、申請手続きが面倒などといった理由から十分に活用されていないのが実態。しかし、最近の経済情勢の悪化の中で、助成金を活用して雇用維持・人材育成を図ろうとする中小企業が増加しているのも事実である。そこで、電設業界に関係すると思われる主な助成金を紹介したほか、活用の具体例、申請書の書き方、更には自社で申請書作成を担当できるような人材がない場合、専門家を派遣してもらえる都道府県中小企業支援センターのリストも掲載されている「まるわかりBOOK」を経営の糧として活用いただきたいと呼び掛けた。登録電気工事基幹技能者に関しては、平成20年1月に建設業法施工規則が改正され、経営事項審査で加点されることになり重要性が増していることを協調、さらに平成21年度から「登録電気工事基幹技能者特例・認定講習会」を労働者に受講させる事業主に対して助成金が支給される事になったので、認定や育成などの活動推進へ協力を求めた。

### 【説明会次第】

1. 人材委員会の設置について
2. 人材確保・育成・活用ツールについて
3. 中小企業向け助成金「まるわかりBOOK」
4. 登録電気工事基幹技能者について



## 技術講習会「積算業務の基礎と実務」



平成22年2月18日(木)午後1時30分から、北海道電気会館502会議室において「積算業務の基礎と実務」に関する講習会を開催した。受講者は会員企業の工事実務担当で17社23名の方々が参加した。

開催にあたり主催者を代表して、当協会の岡竹俊和技術安全委員長から、最近の電気設備業界を取り巻く環境について触れ「北海道では公共工事の減少などから全国平均と比べても一段と厳しい状況にある。この厳しい状況の中でも利益を上げなければならない。そのためには、適正な積算技術が必要とされるので、本日の講習会で積算業務について学び、しっかりと身に付けていただきたい」と挨拶された。

講師には、北海電気工事(株)営業部積算グループ課長鈴木文平氏が日本電設工業協会本部から派遣

された。

鈴木氏は「受注者にとっては安すぎると経営的に不利益である一方、高すぎると受注できず、近年の厳しい受注環境下においては適正な積算が不可欠である。日頃から関係法規、施工方法を熟知し、積算時には多くの資料と情報を取り入れることが重要である」とポイントを強調された。

講習会では、テキスト「電気設備工事費の積算指針」に基き、積算の基本事項など要点をわかり易く解説された。特に積算手順では「設計図書の見積もり依頼に関する提出書類、回答期限の事前確認の徹底、数量拾い出しの際にはメーカーへの見積もり依頼を先にすれば時間の短縮につながる」ことなどを具体的にアドバイスされた。

最後に積算の演習問題を行い終了した。



開講挨拶 岡竹技術安全委員長



講師 鈴木文平氏



## 公益法人制度改革の勉強会



平成22年3月5日(金)午後3時から、北海道電気会館502会議室において公益法人制度改革に関する勉強会を開催。講師には税理士法人札幌中央会計の水野克也公認会計士をお招きし、当協会から吉川会長をはじめ、役員、理事、総務委員他16名が参加した。

公益法人改革関連法が平成18年6月2日に交付され、平成20年12月1日から施工されている。当協会としても平成25年11月30日までに公益社団法人か一般社団法人のいずれかに申請しなければならないので、本日の勉強会で公益法人制度改革の内容を理解し、今後の協会事業に反映させたい。

開催にあたり水野氏から公益法人の状況について、日本の公益法人制度は、明治29年の民法制定とともに始まり、以来約1世紀にわたって、民間非営利部門において大きな役割を果たしてきた。民法第34条に基づいて設立された社団法人及び財団法人は全国で約25,000団体あり、そのうち新公益法人制度に移行申請されたのは354件で、認定されたのは84件と極めて少ない現状説明があった。



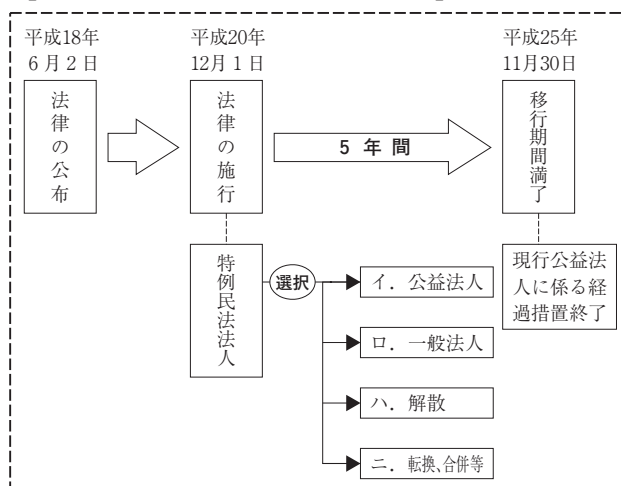
講師 水野克也 公認会計士

公益認定を目指す場合の留意点として、公益目的事業比率が50%以上であると見込まれることが大きな要因となっている。ここでいう公益目的事業とは、学術、技芸、慈善、その他の公益に関する事業であって、不特定かつ多数の者の利益増進に寄与するものをいう。

当協会の事業内容から公益目的事業を洗い出し試算したところ、公益目的事業比率は約20%程度で、50%以上の公益目的事業比率には程遠い状況から、当協会としては規制の多い公益社団法人よりも一般社団法人を選択する方向で検討している。水野氏からも申請までに準備しておくべきこととして、財務諸表の精査や公益目的財産額の算定をしっかりと行い、移行時期については焦らずに計画的に行なうようにアドバイスがあった。

今後については、道庁に設置される公益認定委員会の進捗状況や他団体の動向などを考慮して移行準備していく。

### 【公益法人制度改革スケジュール】



## 電設業関連四団体懇談会



平成22年2月16日(火)午後4時から北電北二条クラブにおいて、当協会、北海道電気資材卸業協同組合、電設資材総合メーカー（3社）、(社)日本配電制御システム工業会北海道支部の4団体による懇談会を開催。各団体から17名が出席した。

はじめに、当協会の吉川会長から日頃の皆さんのご協力に対して感謝の意が述べられたあと「厳しい経営環境が継続している中で、電設業関連四団体が一致団結協力して、この難局を乗り越えていくためにも有意義な懇談会にして欲しい」と挨拶があった。

続いて、嘉部支部長から「当業界が推進している『マネジメントシステム』は定着してきている。特に、注文書を受け取り後、作図製作に着手すること。承認図に承認印を受けた後に製作着手すること。の2点は当たり前の事であるが、徹底を図り、顧客満足度の向上と業界の地位向上を目指す」と挨拶された。

次に、滝川理事長から「北海道の建設業は厳しい状況が継続しているが、北海道洞爺湖サミットの影響もあり、地球環境にやさしい省エネ商品やオール電化住宅の増加、さらに太陽光発電、LED蛍光管の普及拡大など明るい材料もあるので、皆さんで力を出し合っこの難局を乗り越えよう」と挨拶された。

引き続き各団体、メーカー各社から業界の現状と今後の見通し・対策などの報告があった。

最後に当協会の広島専務理事から昨年度実施された会員調査の実施結果から、電気設備工事業に係る受注状況・完成工事高などについて、および昨年10月に日本電設工業会が策定した「会員大会決議」と「適正工期の確保」に関する取り組みについて説明した。

会議終了後の懇親会では、情報交換の場となり和やかな雰囲気の中で終了した。



吉川 会長挨拶



嘉部 支部長  
日本配電制御システム工業会



滝川 理事長  
北海道電気資材卸業協同組合

## 電気・空衛連絡協議会



平成22年3月12日(金)北海道電気会館において当協会と(社)北海道空調衛生工事業協会による連絡協議会を開催した。

道空衛からは、池田会長ほか11名、当協会からは吉川会長ほか9名が出席した。

本協議会は、電気・空衛の両協会が連携・協調して事業を推進するため毎年開催しており、両業界の共通課題に取り組み、情報交換及び検討会を重ね、両協会の地位向上、企業経営に大きな役割を果たしている。

今年は、下記の協議事項について意見交換を行った。

### 【協議事項】

1. 電気・空衛連絡協議会行事予定について
2. 札幌市と電気・空衛連絡協議会との意見交換会について
3. 北海道設備設計事務所協会との協議会開催について

### 【出席者】

◎(社)北海道空調衛生工事業協会

(社)札幌空調衛生工事業協会 (札空衛)

会 長	池 田 薫
副 会 長	渡 部 正 博
(札 空 衛)	
副 会 長	里 中 雅 幸
副 会 長	大 谷 美 貴 夫
常任理事 総務担当	佐 藤 光 好
〃 技術担当	五 十 嵐 正 明
理 事 総務委員長	太 田 正 則



池田会長



吉川会長

理 事 広報委員長  
 〃 経営委員長  
 〃 技術委員長  
 〃 技術委員長  
 事務局 局長

新 村 誠  
 齊 藤 一 男  
 村 田 克 敏  
 田 中 克 典  
 小 林 雅 英  
 (12名)

◎(社)北海道電業協会

会 長

副 会 長

〃

〃

理 事 総務委員長

〃 経営委員長

〃 技術安全委員長

経営副委員長

専務理事

事務局 局長

吉 川 照 一  
 中 野 章  
 山 口 勉  
 樋 口 雄 一  
 加 藤 勝 利  
 小 野 寺 涼 一  
 岡 竹 俊 和  
 元 永 修  
 広 島 維 夫  
 枝 並 秀 喜  
 (10名)



## 札幌市都市局との意見交換会



当協会と(社)北海道空調衛生工事業協会との共催で3月12日(金)北海道設備会館会議室において、札幌市都市局幹部方々のご出席をいただき、意見交換会を開催した。

電業協会と道空衛協会からそれぞれ会長、副会長、理事ら合わせて23名が参加した。札幌市都市局からは芝富士夫設備担当部長、日當雅博電気設備課長、佐藤之則機械設備課長、が出席された。



札幌市都市局建築部  
左から 佐藤課長、芝部長、日當課長

＜意見交換会の内容は次のとおり＞

### 1. 札幌市からの情報提供

- ①札幌市の事業動向と今後の見通し
- ②入札契約制度等について
- ③その他

### 2. 要望事項

- ①分離発注の継続と適正工事量の確保について
- ②公共施設のリニューアル事業等に対する予算措置の配慮のお願い
- ③札幌市との防災協定締結に向けたお願い
- ④工期に応じた現場管理費の算出についてのお願い
- ⑤低価格入札防止のための「予定価格の事前公表の廃止」及び「公共工事の最低制限価格の引き上げ」のお願い

### 3. 質問事項

- ①現場代理人の兼任条件緩和措置の検討
- ②総合評価方式における地域精通度、地域貢献度等地域要件の検討状況



## 電気設備工事現場見学会



平成22年2月24日(水)会員企業の技術向上と最新設備の見聞を深めるため、見学会を実施した。今回は、ほくでん苫東厚真発電所と北海道エコリサイクルシステムズ(株)の2箇所で、会員会社12社18名が参加した。

ほくでん苫東厚真発電所は海外炭を燃料とする火力発電所で、3基の発電ユニットがあり、総出力165万KW（1号機35万KW、2号機60万KW、4号機70万KW）でほくでんの基幹電源としての役割を担っている。

最初に発電課副主幹の松田譲仁さんから、施設の概要について説明があり「環境への影響を極力少なくするために、きめ細かい環境対策を施すなど、高効率でクリーンな発電所を目指している」と説明があった。

最初にタービン室を見学、続いて1号機ボイラー、中央操作室、4階屋上からは発電所構内全体と周辺設備を一望し、最後に併設されている「火力なるほど館」で、火力発電のしくみ、地域や自然とのかかわり等について説明を受けた。



火力なるほど館

午後からは家電製品をリサイクルしている、北海道エコリサイクルシステムズ(株)を見学。

最初に野尻守男社長から、2001年4月に施行された家電リサイクル法について「この法律は、エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機を対象に、消費者、小売業者、家電メーカーなどがそれぞれ役割を分担してリサイクルを推進する事を義務づけたもので、全ての人に参加して循環型社会を形成すること目指している」と説明があった。

つづいて、施設の概要についてはパソコンを利用して、エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機の対象商品を分解、分別している様子を大型スクリーンに映し、それぞれの作業工程を詳しく説明された。特に「地球温暖化の一因となっているフロンガスの回収には力を入れている。冷蔵庫やエアコンから専門機材を使って適正に回収している」ことを強調された。

最後に、家電製品が手際よく、鉄、銅、ガラス、プラスチックなどに細かく分解、分別されていく工程を見学して、本日の見学会を終了した。



北海道エコリサイクルシステムズ(株)



## 海鳥の楽園・天売 緑の島・焼尻 四季の豊かな自然と調和するまち 羽幌町

羽幌町長 舟橋泰博



### ■羽幌町の紹介

羽幌町は、北海道北部の日本海側に位置し、日本最北の国立公園に指定されている天売島と焼尻島を有し、日本一の漁獲量を誇る甘エビやホタテ、タコ、ウニといった海産物、グリーンアスパラやオロロン米などの農産物、ストレスのない環境の中で育った焼尻めん羊など、豊富な資源に囲まれた自然豊かな町です。

年間の平均気温は7℃前後で道内平均と大差ありませんが、沿岸に対馬海流の影響を受け比較的温暖で寒暖の差が少なく、過ごしやすい環境です。

日本海の海の幸や大地の実りといった豊かな自然の恵みに囲まれていることから、地域資源を活かした漁業や農業といった第1次産業が町の基幹産業です。



### ■バラが彩る町・羽幌

日本海に沈む美しい夕陽がその名前の由来となった海水浴場「はぼろサンセットビーチ」では、毎年多くの観光客がリゾート感あふれるビーチにリピーターとしてやってきます。

羽幌町の中心部には道の駅「ほっと・はぼろ」があり、約300種以上、2000株以上のバラが咲き誇る「はぼろバラ園」や海鳥専門施設「北海道海鳥センター」など多彩な施設を備えています。宿泊施設とレストラン「はぼろ温泉サンセットプラザ」がその拠点施設となっています。

バラ園では8月に町をあげてのグルメイベント「味まつり」が開催され、甘エビはもちろんのこと地元特産品や加工品、農産物の特価販売やショーなどで喜ばれています。





## ■海鳥の楽園・天売島

天売島は世界でも類を見ない人と海鳥とが共生する島です。島の西側は切り立った断崖が連なり海鳥の繁殖地となる一方、次第に低くなっている東側に人間の集落が形成されています。



羽幌のシンボリックな存在でもあるウミガラスはその独特の鳴き声からオロロン鳥とも呼ばれており、かつては4万羽が生息していました。しかし、現在は絶滅の危機に瀕しており、北海道海鳥センターなどの手により保護活動が続けられています。そのほかにも、ウトウ・ケイマフリ・ウミウなど100万羽を超える海鳥が繁殖期にかけて島を訪れ、まさに「海鳥の楽園」といえます。

中でもウトウは世界でも最大となるコロニーを形成しており、その数は30万つがいとも言われています。夕暮れに群れをなして一斉に帰巢する姿には誰もが圧倒されます。

また、天売島は新鮮な魚介類の宝庫でもあり、8月には「日本一の味覚・天売ウニまつり」が開催されています。



## ■サフォークと緑の島・焼尻島

地図で見ると、大きさと地形がよく似た天売島と焼尻島です。ところが全く表情は違い、焼尻島は島の3分の1が深い原生林に覆われています。5万本とも言われるオンコ(イチイ)を中心とする原生林は、国の天然記念物にも指定されています。

緑あふれる焼尻島はその狭い面積に多種多様な花が咲くことでも知られており、エゾエンゴサクやエゾカンゾウ、クルマユリ、オニユリなどが咲き乱れ、「花と緑の島」とも呼ばれています。深い森は野鳥の中継地として最適で、初夏から秋にかけて200種以上の野鳥が羽を休めています。

また、島の中心部の広大な草地を利用した牧場で育てられる焼尻めん羊は高級食材として高く評価されています。潮風をたっぷり浴びミネラルが多く含まれた牧草を食べ、最高の育成環境でストレスなく育った子羊は、フランス産の高級ラム肉「プレ・サレ」にも肩を並べると、数多くの国内有名シェフから絶賛されています。

年に1度開かれる「焼尻めん羊まつり」でその味を堪能することができます。



## ■まちの概要

【人口】 8,264人(平成22年1月31日現在)

【世帯数】 3,903世帯(同上)

【まちの木】 オンコ

【まちの花】 ツツジ



詳しくは羽幌町ホームページをご覧ください。

<http://www.town.haboro.lg.jp/>



## 人かがやき 夢ひろがる 美しき唄のまち

美唄市長 桜井道夫

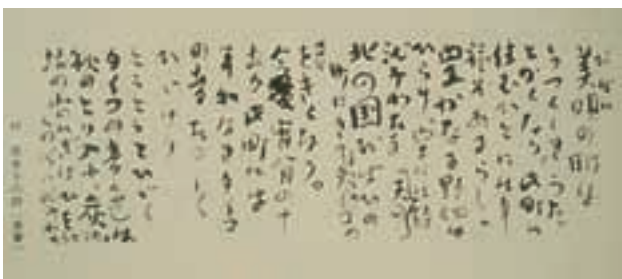
美唄市は、石狩平野のほぼ中央に位置しています。西側は石狩川が流れる田園地帯、東側は夕張山地につづく丘陵・山岳地です。市内を南北に、日本一の直線道路（29.2km）である国道12号とJR函館本線が通っている、交通の要衝にあります。かつては石狩炭田の一部で豊富な石炭を産出した、道内有数の産炭地でした。



炭鉱閉山後は「農業のまち」として、銘柄「おぼろづき」をはじめとするお米や、グリーンアスパラガス、ハスカップなどの特産地として知られています。

さて、『びばい』ってどういう意味？と尋ねられることが多いのですが、これは、アイヌ語の「ピパ・オ・イ」(沼に貝の多い所)に由来しています。

また、「放浪記」「浮雲」などで知られる作家・林芙美子さんが、昭和17年に美唄を訪れた際の印象を、詩集で「美唄の町は美しきうたとかくなり」と綴ったことから、「美しき唄のまち」が市のキャッチフレーズとして定着しました。市役所前庭に設置されている歌碑には、ご本人の筆跡を写したこのときの詩を見ることができます。



### ◆春の2つの見どころ



美唄市の「春の見どころ」といえば、やはり市内東側に位置する東明公園の桜でしょう。ソメイヨシノやエゾヤマザクラなど、約1,600本が咲き誇り、空知随一の桜の名所として多くの見物客で賑わいます。

桜の開花がピークを迎える5月初旬には、美唄の春のお祭り「びばい桜まつり」が開催されます。周辺には温泉施設やパークゴルフ場、陶芸体験施設などもあり、多くの皆さんに楽しんでいただいています。

また、市内西側の農地に囲まれた中に、平成14年にラムサール条約登録湿地として指定された「宮島沼」があります。



この宮島沼には、国の天然記念物のマガンが飛来し、毎年春（3月下旬～5月上旬）にはシベリアへ北上する際の中継地として、約6万羽が羽を休めます。秋にも、宮城県・伊豆沼などの越冬地へ南下する際マガンが飛来し、日本最大・最北のマガンの寄留地として、飛来シーズンには多くの方が訪れます。

見どころは、朝のねぐら立ちと夕方のねぐら入りです。夜明けとともにエサ取りに飛び立つマガンが一斉に羽ばたくと地響きのような羽音が沼中



に響きわたり、また、夕方に列をつくって次々と沼に降り立つ様子は壮観です。言葉では言い表せられない自然の勇壮さを体全体で感じられます。

#### ◆世界的彫刻家の作品で安らぎを

国道12号から東側にしばらく行くと、右手に彫刻が立ち並ぶ「アルテピアッツァ美唄」が見えてきます。

ここは、もともと廃校になった小学校の屋内体育館を改築したものです。施設内外には、美唄市出身の世界的彫刻家・安田侃氏の彫刻が設置されています。訪れた人がただ彫刻を眺めるだけでなく、自由に作品に触れることのできる、ユニークな芸術空間となっています。



この空間を利用して、音楽や舞踊などの発表会・講演会や、絵画などの展示などを行っており、幅広い芸術文化交流の場となっています。作品鑑賞や、敷地内のカフェで彫刻を眺めながらのティータイムなど、まちの喧騒からふっと解放されるような、ゆったりとした時間を過ごせます。

#### ◆自然と一体になる露天風呂

東明公園のすぐそばには、温泉施設「ピパの湯 ゆ〜りん館」があります。

露天風呂からは美唄市内を一望できます。辺りが暗くなるとライトアップされ、イタリア・カプリ島の青の洞窟をイメージした幻想的な「青の洞窟露天風呂」が出現します。



平成15年のオープン以来、170万人を越える方が利用し、地元食材を豊富に取り入れたメニューが楽しい館内レストランとともに好評をいただいています。

#### ◆美唄の特産品がずらり



昨年7月、国道12号沿いに「アンテナショップ PiPa」がオープンしました。美唄の銘菓やお米、また夏場には、グリーンアスパラ等のとれたての農産物など「美唄のあらゆる美味しいもの」が勢揃いし、市内外の皆さんからお越しいただいています。

このアンテナショップで特に人気を集めているのが、ご当地グルメ「とりめし」と「焼き鳥」です。



とりめしは、市内の中村地区で古くから伝わる郷土料理で、アンテナショップ開店から数時間で完売してしまう人気商品です。焼き鳥は、レバーや皮など、鶏のさまざまな部位が1本の串に刺さっている「モツ串」と呼ばれる美唄特有の焼き鳥で、市内には10を越える焼き鳥店があります。アンテナショップでは、焼き鳥店に足を運べない皆さんのために、3つの店の焼き鳥が真空パックで販売されています。食べ比べてみてはいかがでしょうか。

このほか、美唄の名産品はインターネットでも購入できますので、美唄の観光や食についての情報が満載の「ポータルサイトPiPa」(<http://www.pipaai.jp/>)にぜひアクセス！

美唄の魅力を知っていただくためにも、美唄へのお越しをお待ちしています。

美唄市ホームページ  
<http://www.city.bibai.hokkaido.jp/>

## 「道設備設計事務所協会」と「電気・空衛連絡協」との意見交換会



当協会と(社)北海道空調衛生工事業協会で構成する「電気・空衛連絡協議会」と「北海道設備設計事務所協会」との意見交換会が3月19日(金)北海道電気会館で開催され、3協会から合わせて24名が出席した。

はじめに、吉川会長から業界を取り巻く環境が厳しさを増す中で、公共工事の減少、原油価格の高騰などで、さらに厳しさに追い討ちをかけられている状況を説明し、この難局をみんなで力を合わせて乗り越えようと挨拶があった。

つづいて、各協会から状況報告があり、電業協会からは、電設工事業界をめぐる最近の状況と当協会の事業取り組みについて。適正工期の確保について。会員調査結果の資料から、会員の受注が全国的に大きな落ち込みになっている現状を報告。さらに、日本電設工業協会で昨年10月に策定した「21年度会員大会決議事項」について説明。道空衛協会からは、最近の日空衛の活動状況から、コンプライアンスの確保や公正な事業活動の取り組みについて説明があった。道設備設計事務所協会からは、道建築設備設計事務所協会の最近の動向から、人材確保が厳しくなっている現状等、について説明された。

《出席者名は次のとおり》

### ◎北海道設備設計事務所協会

会 長 種市 由夫  
副 会 長 高木 正一  
理 事 須藤 良也  
          高橋 融  
委 員 高橋 忠昭  
          〃 平川 恵司  
事務局長 増田 宏興

### ◎(社)北海道空調衛生工事業協会

会 長 池田 薫  
副 会 長 渡部 正博  
          〃 里中 雅幸 大谷 美貴夫  
理 事 佐藤 光好 五十嵐 正明  
          〃 太田 正則 齊藤 一男  
事務局長 小林 雅英

### ◎(社)北海道電業協会

会 長 吉川 照一  
副会長 山口 勉  
理 事 加藤 勝利 小野寺涼一  
          岡竹 俊和 萩本 哲夫  
経営副委員長 元永 修  
専務理事 広島 維夫  
事務局長 枝並 秀喜

## 現場からこんにちは

**工事名称：**北洋大通センタービル新築工事  
**事業者：**（株）北洋銀行・交洋不動産（株）  
**工事場所：**札幌市中央区大通西3丁目7番地  
**工期：**平成20年3月1日～平成22年3月31日  
**工事規模：**鉄骨造（一部鉄筋鉄骨コンクリート造）  
地上19階・地下4階、高さ約96m  
**延面積：**58,742.39m<sup>2</sup>  
**設計監理：**日建設計・北海道日建設計・ドーコン  
共同企業体  
**主体施工：**大林・伊藤・岩田地崎・丸彦渡辺・中山・田中共同企業体  
**電気施工：**東光・北弘電・北海電工・きんでん共同企業体

### 《 電気設備概要 》

- ・受変電設備：屋内キュービクル形式（3回線スポットネットワーク受電、ガス33kV、2,000kVA×3台）
- ・発電機設備：ガスタービン発電機1,250kVA
- ・蓄電池設備：MSE型鉛蓄電池
- ・電灯設備：システム天井、Hf型蛍光灯750lx  
コンセント75VA/m<sup>2</sup>
- ・幹線設備・遠方監視制御設備・電話設備・放送設備・テレビ共聴設備・弱電設備・防災設備・呼出設備



現場代理人 鈴木 伸夫 さん

今回取材をさせて頂いたのは、札幌市中央区で施工中の「北洋大通センタービル新築工事」で電気工事の現場代理人をされている 東光電気工事株式会社 北海道支社 鈴木 伸夫 さんです。

この現場は昭和36年6月に竣工した旧拓銀本店ビル（SRC造、地下1階・地上6階、塔屋3階、延面積21,537m<sup>2</sup>）を平成18年11月から取り壊した跡地に建設される、札幌駅前通・大通公園の環境に調和した道都の新たなランドマークとなる大規



旧拓銀本店ビル

模複合ビルです。地下2階部分は「札幌駅前通地下歩行空間」(平成23年春完成予定)に幅広く接続（約50m）した広場空間を創設し、フロア構成は下記の通りとなっています。

- B3F～B4F：駐車場・機械室
- B2F～4F：北洋銀行店舗・誘致商業施設
- 5F：ガーダー階（特高電気室・機械室等）
- 6F～12F：北洋銀行本部
- 13F～18F：テナントオフィスフロア
- 19F：塔屋（サブ電気室・発電機室）



工事中の北洋大通センタービル

施工は工程的に非常に厳しく、設備工事並びに内装工事は実質的に平成21年8月からの作業となった為、多いときには設備工事だけで1日に200人もの職人さんが現入されたとのこと。取材致しました2月19日現在においても現場は繁忙を極めておりましたが、現場内の安全作業はもちろんのこと、第三者災害を起こさぬよう十分配慮し、3月からの諸検査並びに引き渡しへ向けて全力で施工してゆきますとのことでした。

現場作業が大変お忙しい中、とても気持ちよく丁寧に取材をお受け下さいました鈴木さん、誠にありがとうございました。

取材 広報委員 長谷川政幸（北海道タツマ電気）  
菊地 大（協信電気）



# お 知 ら せ

## ○平成22年度電気工事施工管理技士受験準備講習会

### 1 級学科

#### 【申込受付期間】

平成22年2月22日から4月28日まで（定員になり次第締め切り）

#### 【申込方法】

- ・ 所定の申込用紙により(社)日本電設工業協会北海道支部宛にFAX
- ・ 申込用紙は、(社)北海道電業協会でも取り扱う。

#### 【開催日】

平成22年5月11日(火)～5月12日(水)2日間

#### 【開催場所】

北海道開発協会会議室

札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル6F 電話011-709-5211

#### 【検定試験日】

平成22年6月13日(日)

### 1 級実地

#### 【申込受付期間】

平成22年7月20日から開催日当日まで（定員になり次第締め切り）

#### 【申込方法】

- ・ 所定の申込用紙により(社)日本電設工業協会北海道支部宛にFAX
- ・ 申込用紙は、(社)北海道電業協会でも取り扱う。

#### 【開催日】

平成22年9月6日(月)1日間

#### 【開催場所】

北海道開発協会会議室

札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル6F 電話011-709-5211

#### 【検定試験日】

平成22年10月17日(日)



## 平成22年度登録電気工事基幹技能者特例講習会

### 【受付期間】

平成22年5月1日(土)から平成22年5月31日(月)

### 【特例講習会の開催日】

平成22年8月27日(金)

### 【開催場所】

北海道電気会館

(札幌市中央区大通東3丁目)

### 【開催概要】

この講習会は、平成19年度以前に認定した電気工事統括技士及び電気工事基幹技能者の資格を取得した人が、平成21年度より実施されている経営事項審査（経審）で加点評価されるための特例講習会です。

この特例講習会は平成20年度から平成24年度までの5年間に実施します。

### 【受講資格】

平成19年度以前に電気工事基幹技能者（電気工事統括技士を含む）の資格を取得した者であり、次の条件を全て満たす者とする。

1. 基幹技能者資格を取得後、1年以上基幹技能者として電気工事の現場施工に従事した経験があって、これについて事業主等よりの証明が得られること。
2. 電気工事の現場施工に従事して、10年以上の実務経験があり、3年以上の職長経験を有していることを証明できる者。

①実務経験は事業主による証明とする。

②職長経験は事業主による証明と、労働安全衛生法第60条による職長教育終了証とする。

### 【受講料】

8,000円

受講料には、受講費、教材費、その他関係諸経費が含まれる。

### 【申込方法】

所定の申込用紙により(社)日本電設工業協会北海道支部に提出。

申込用紙は、(社)北海道電業協会でも取り扱う。

### 【特例講習会受講者の認定】

特例講習会を受講して登録基幹技能者として認定された者には、登録電気工事基幹技能者講習終了証が付与され、(社)日本電設工業協会に登録して公表する。

## ○平成22年度登録電気工事基幹技能者認定講習会

### 【申込受付期間】

平成22年8月2日(月)～8月31日(火)

### 【開催日】

平成22年10月30日(土)～10月31日(日) 2日間

### 【開催場所】

北海道電気会館

(札幌市中央区大通東3丁目)

### 【受講資格者】

- (1) 認定講習を受講できる者は、次の条件を全て満たす者とする。
  - ①第一種電気工事士の免状取得後、電気工事の直接施工業務に従事して、5年以上の実務経験を有する者。
  - ②電気工事の直接施工業務に従事して該当する建設業の種類につき10年以上の実務経験があり、労働安全衛生法第60条による職長教育を終了して、受講前日までに3年以上の職長経験を有している者。
- (2) 条件を満たす証明書類は次の書類を添付する
  - ①実務経験については、事業主が証明した実務経験証明書。受講者が事業主の場合は、記載事実と相違がない旨の誓約書(署名、捺印)が必要
  - ②第1種電気工事士免状の写し、また職長経験については、同実務経験証明書と労働安全衛生法第60条による職長教育終了証の写しを添付する。

### 【受講料】

18,000円(受講料には、受講費、教材費、認定関係費が含まれます)

8,000円 平成21年度の認定講習会・試験で不合格通知を受け、試験のみ受験する者。

### 【申込方法】

所定の申込用紙により(社)日本電設工業協会北海道支部に提出。

申込用紙は、(社)北海道電業協会でも取り扱う。

### 【電気工事基幹技能者の認定・特典】

認定講習を受講し、終了査定(試験)に合格した者は、「登録電気工事基幹技能者」として認定され、(社)日本電設工業協会会長から「登録電気工事基幹技能者証」が交付される。また、建設業法第27条の23第3項経営事項審査の項目及び基準を定める件(国土交通省告示第85号機関技能者関係)により登録基幹技能者は技術職員の加点として3点が、平成21年度より認められることになった。

## 業界だより

○会員代表者の変更 平成22年1月1日付

・サンワコムシスエンジニアリング(株)

(新) 北海道支店長

(旧) 〃

川出 健 氏

森 智嗣 氏

○住所変更 平成22年2月22日付

・栗原工業(株)札幌営業所

(新住所) 003-0002

札幌市白石区北郷4条3丁目2-28

電話 011-872-7014

FAX 011-872-7015

・新生テクノス(株)北海道支社

平成22年3月23日付

(新住所) 065-0028

札幌市東区北28条東18丁目5-15

電話 011-783-3181

FAX 011-783-3800

## 理事会・委員会報告

### 理 事 会

◇平成22年1月26日(火) 12:00~13:30

#### 第6回議題

##### 【協議事項】

1. 総会までの協会主要事業スケジュールについて
2. 平成22年役員会等の日程について
3. 札幌市との意見交換会の開催について
4. 平成21年度電設業関連四団体懇談会の開催について
5. 改正公益法人制度勉強会の開催について

##### 【報告事項】

6. 北海道建設業審議会委員の就任について
7. 人材育成助成制度説明会の開催について
8. 第229回本部政策委員会開催概要について
9. 本部運営委員会配付資料(公益法人関係)
10. 登録基幹技能者認定専門委員会開催概要について
11. 都道府県に対する基幹技能者の有効活用要請活動について

12. 平成21年度技術講習会の開催について
13. 平成21年度電気設備現場見学会の開催について
14. 平成21年度北海道赤レンガ建築賞審査状況について
15. 平成21年度電気安全セミナー開催について
16. 本部・支部事務連絡会議の開催について
17. 平成21年度「建設専門業の経営革新支援研修会」開催について
18. 22年1月~2月行事予定について
19. その他意見交換

◇平成22年3月30日(火) 12:00~13:30

#### 第7回議題

##### 【協議事項】

1. 会員の退会届について
2. 通常総会に向けた対応について
3. 電業協会功績者表彰の推薦について

##### 【報告事項】

4. 本部政策委員会第224回の開催概要について
5. 公益法人改革に向けた当協会の今後の対応に



ついて

6. 会費低減に向けた対応について
7. 平成21年1月～6月役員会等の日程について
8. 北海道設備設計事務所協会との意見交換会について
9. 各委員会の開催状況について
10. 全国公益法人協会準会員への入会について
11. 関連団体との総会・懇親会について
12. 設備設計事務所協会新年交礼会について
13. 北海道電業協会の活動状況について  
(本部理事会発表)
14. その他意見交換

## || 三 役 会

◇平成22年1月18日(月) 12:00～13:30

### 第10回議題

1. 総会までの協会主要事業スケジュール
2. 平成22年役員会等の日程
3. 平成21年度電設業関連四団体懇談会の開催
4. 人材育成助成制度説明会の開催
5. 公益法人制度改革勉強会の開催
6. 第229回本部政策委員会開催概要
7. 公益法人制度改革勉強会(公益法人関係)
8. 登録基幹技能者認定専門委員会開催概要
9. 都道府県に対する基幹技能者の有効活用要請活動
10. 平成21年度技術講習会の開催
11. 平成21年度電気設備現場見学会の開催
12. 平成21年度北海道赤レンガ建築賞審査状況
13. 平成21年度電気安全セミナー開催
14. 本部・支部事務連絡会議の開催
15. 22年1月～2月行事予定
16. その他意見交換

◇平成22年2月19日(金) 11:00～12:30

### 第11回議題

1. 通常総会(44回、54回)・懇親会スケジュール
2. 本部・支部事務連絡会開催概要
3. 本部役員の改選期理事定数

4. 札幌市都市局と電気・空衛連絡協議会との意見交換会
5. 電気空衛連絡協議会、幹事会の開催
6. 設備設計事務所協会との意見交換会
7. 公益法人制度改革勉強会の開催
8. 平成22年度「技術安全衛生基礎教育講習会」の開催
9. 北海道空衛協会総会懇親会案内
10. 札幌市業界団体連絡協議会創立25周年記念事業開催
11. 札幌弱電設備業協同組合の総会案内
12. 平成22年2月～3月行事予定
13. その他意見交換

◇平成22年3月17日(水) 12:00～13:30

### 第12回議題

1. 通常総会(44回、54回)・懇親会スケジュール
2. 通常総会(44回、54回)・懇親会次第・来賓等
3. 協会功績者表彰
4. 本部政策委員会の開催概要
5. 札幌市都市局と電気・空衛連絡協議会との意見交換会
6. 電気空衛連絡協議会、幹事会の開催
7. 設備設計事務所協会との意見交換会
8. 公益法人制度改革勉強会の開催概要
9. 平成22年度「技術安全衛生基礎教育講習会」の開催
10. 北海道建築士会総会、電気協会電気記念日の開催
11. 基幹技能者活用の関係都道府県への要請活動
12. 平成22年3月～4月行事予定
13. その他意見交換

## 総務委員会

◇平成22年3月10日(水) 12:00~13:30

### 第4回議題

1. 平成21年度事業実施状況、22年度事業計画
2. 平成22年度電業協会功績者表彰者の推薦
3. 通常総会(44回・54回)迄のスケジュール
4. 平成22年役員会等の日程
5. 公益法人制度改革勉強会の開催概要
6. 本部・支部事務局長会議開催概要
7. 登録基幹技能者活用の都道府県要望
8. 「適正工期の確保」
9. その他意見交換

## 経営委員会

◇平成22年3月4日(木) 12:00~13:30

### 第5回議題(議長:元永副委員長)

1. 第4回議事録(案)の承認
2. 電設協第230回政策委員会の開催概要
3. 平成21年度経営委員会事業活動状況
4. 平成22年度経営委員会事業計画(案)
5. 本部・支部事務連絡会議開催概要
6. 札幌市都市局と電気・空衛連絡協議会との意見交換会
7. その他意見交換

## 広報委員会

◇平成22年3月24日(水) 15:00~16:30

### 第4回議題

1. 平成21年度事業実施状況
2. 平成22年度事業実施計画(案)
3. 会報「夏号」編集方針
4. 会報「春号」校正
5. その他意見交換

## 技術安全委員会

◇平成22年3月9日(火) 12:00~13:30

### 第4回議題

1. 実施報告
  - ・技術講習会の実施  
(積算業務の基礎と実務)
  - ・電気設備見学会の実施  
(ほくでん苫東厚真発電所  
北海道エコリサイクルシステムズ(株))
2. 平成21年度技術安全委員会事業報告
3. 平成22年度技術安全委員会事業計画
4. 講習会のお知らせ
  - ・平成22年度電気工事施工管理技士受験準備講習会 1級学科・1級実施
  - ・平成22年度「技術・安全衛生基礎教育講習会」
  - ・平成22年度登録電気工事基幹技能者特例講習会
  - ・平成22年度登録電気工事基幹技能者認定講習会
5. 本部・支部事務連絡会議 概要  
広島専務理事から
6. その他意見交換

## 厚生委員会

◇平成22年3月18日(木) 16:00~17:00

### 第2回議題

1. 平成21年度各部会行事实施報告
2. 平成22年度厚生委員会事業計画(案)
3. 平成21年度予算及び22年度予算(案)
4. その他意見交換

## 事務局日誌

- 1月7日(木)・官公庁新年挨拶  
吉川会長ほか
- 8日(金)・電気関係三団体賀詞交歓会  
(グランドホテル) 吉川会長ほか
- 12日(火)・本部電設協会賀詞交歓会  
吉川支部長ほか
- 15日(金)・設備設計協会新年交礼会  
(京王プラザホテル) 中野副会長
- 18日(月)・第10回三役会
- 26日(火)・第6回理事会・常議員会  
・商工会議所新春交流会  
(パークホテル) 広島専務理事
- 28日(木)・人材育成助成制度等説明会
- 29日(金)・本部運営委員会  
・本部理事会 (東京) 吉川支部長他
- 2月5日(金)・本部・支部事務連絡会議  
(東京) 広島専務
- 16日(火)・電設業4団体懇談会  
ほくでん北二条クラブ
- 18日(木)・技術講習会(電気会館)  
「積算業務の基礎と実務」
- 19日(金)・第11回三役会
- 24日(水)・電気設備現場見学会  
(ほくでん苫東厚真発電所・  
北海道エコリサイクルシステムズ(株))  
・道空衛協会総会  
(京王プラザホテル) 吉川会長
- 26日(金)・札幌弱電設備業協同組合総会  
(ライフオート札幌) 山口副会長
- ・歌唱部会
- 3月4日(木)・本部政策委員会  
(東京) 山口副会長
- ・第6回経営委員会
- ・札幌商工会議所業界団体協議会25周年記念事業  
(ホテルオークラ札幌) 広島専務理事
- ・ゴルフ部会
- 5日(金)・公益法人改革制度説明会  
(電気会館)
- 9日(火)・第4回技術安全委員会
- 10日(水)・第4回総務委員会
- 12日(金)・電気空衛幹事会  
・札幌市と電気空衛協議会との意見交換会  
・電気空衛連絡協議会 (電気会館)
- 17日(水)・第12回三役会
- 18日(木)・本部運営委員会  
(東京) 吉川支部長
- ・第2回厚生委員会
- 19日(金)・設備設計事務所協会と電気・空衛協会との意見交換会 (電気会館)
- 24日(水)・本部理事会 (東京) 吉川支部長
- ・第4回広報委員会
- 25日(木)・電気記念日祝賀会  
(札幌グランドホテル)
- 30日(火)・第7回理事会  
・第2回地区代表者会議  
(評議員会)



## 編集後記

昨年末より、アメリカで「ウォーターゲート事件」になぞらえて「クライメート（気候）ゲート事件」などと大きく報道されています。

これは、IPCC（国際的な専門家をつくる地球温暖化についての科学的な研究の収集、整理のための政府間機構）が捏造データを提出していた事件をもじったものですが、なぜか日本ではあまり報道されていません。

NYタイムズ等、欧米のマスメディアではかなり報道されていましたが、ここ数年偽装問題で揺れた日本なのに何故？と思います。

「確かな目で確かな選択」そして「確かな報道を」と感じる今日この頃です。

さて、この度は北海道産業保安監督部企画調整官 島田雄二様には公務多忙の中当協会の会報誌にご寄稿頂き真にありがとうございました。今後とも当協会に対するご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員皆様方の更なるご活躍をご祈念申し上げまして編集後記とさせていただきます。

広報副委員長 嶋津 博



発行 平成22年4月  
社団法人 北海道電業協会  
札幌市中央区南1条東1丁目3番地  
パークイースト札幌6階  
TEL (011)271-2932  
FAX (011)271-2952  
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp